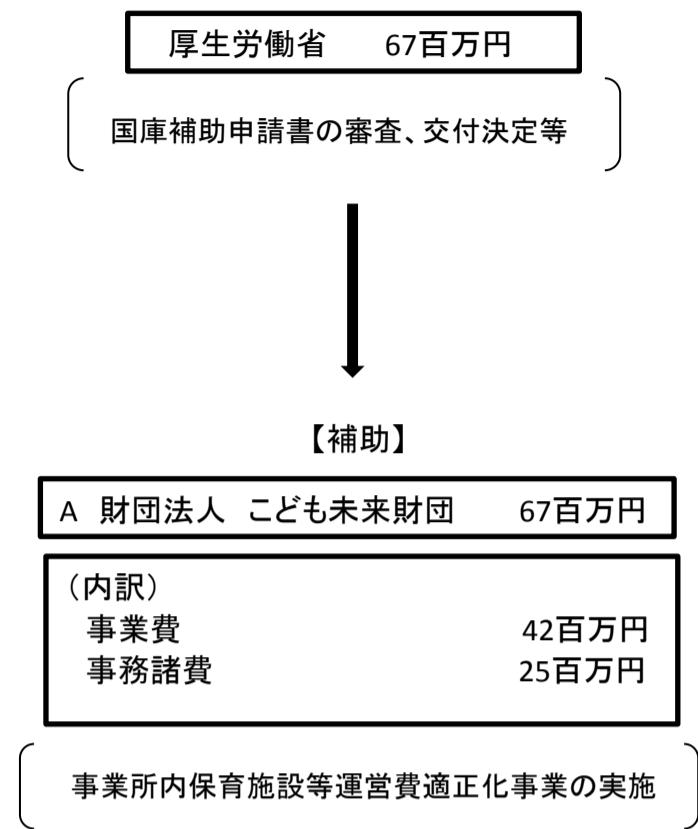


平成24年行政事業レビュー・シート (厚生労働省)

事業名	事業者内保育施設等運営適正化事業		担当部局	雇用均等・児童家庭局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度		担当課室	保育課		橋本 泰宏	
会計区分	年金特別会計 (子どものための金銭の給付勘定)		施策名	III-1-3 就学前児童の保育ニーズに対応した保育サービスを確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2		関係する計画、通知等	子育て支援事業等助成費の国庫補助について (厚生事務次官通知 平6.8.22厚生省発児第137号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	事業所内保育施設等の保育従事者を対象とした研修等に必要な経費の助成を行うことにより、児童の健全育成及び福祉の向上を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	補助の内容:事業所内保育施設等の保育従事者を対象とした研修等に必要な経費の補助 実施主体:財団法人 こども未来財団 補助率:定額(10/10相当)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	当初予算	94	66	67	53	52	
	補正予算						
	繰越し等						
	計	94	66	67	53		
	執行額	61	66	67			
執行率(%)	64.9%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、児童の健全育成及び福祉の向上を図るものであるため、成果指標を設定することは困難である。		成果実績		—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	研修会開催回数		活動実績 (当初見込み)	か所	84	83	77
単位当たりコスト	627千円/一回当たりの研修開催費		算出根拠	H22年度確定額(52,005千円)/H22年度研修開催回数(83回)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	事業費	28	27	資料作成部数の見直しによる減 —			
	事務費	25	25				
	計	53	52				

事業所管部局による点検						
	評価	項目	評価に関する説明			
目的・状況・予算の	<input type="radio"/> 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 <input type="radio"/> 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 <input type="checkbox"/> 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	本事業の目的である児童の福祉の向上を図ることは重要であり、優先度の高い事業である。 事業所内保育施設等の運営が全国的に適正に推進されるために国の補助事業としている。 -	-			
資金の流れ、費目・用途	<input type="radio"/> 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 <input type="radio"/> 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 <input type="radio"/> 受益者との負担関係は妥当であるか。 <input type="checkbox"/> 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 <input type="radio"/> 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業を実施する子ども未来財団は、育児及び児童の健全育成に寄与することを法人目的としており、事業主団体や民間企業などと連携しつつ、拠出者へ還元的意義を有する児童育成事業を行ってきた実績を有しており、児童の育成に幅広い知識と経験を有する唯一の法人であることから、子ども未来財団を選定している。 こども未来財団は、事業の実施に関してHP等を通じて広く募集し、当該事業の基準に該当しているか審査した上で事業を実施しており、事業実施先の選定は適切に行われている。 事業実績等を踏まえ、必要経費の見直しを行っている。 補助対象経費は事業実施に必要な経費のみであり、それ以外は実費負担である。 -	-			
活動実績、成果実績	<input type="radio"/> 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 <input type="checkbox"/> 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 <input type="radio"/> 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 <input type="checkbox"/> 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 <input type="checkbox"/> 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	事業は全国規模で実施されており、実行性の高い手段となっている。 -	活動実績を踏まえ、平成24年度は当初見込みの見直しを行った。 -			
点検結果	当該事業について、各点検項目による評価も概ね妥当と考えられる。よって今後も適切な執行に努めてまいりたい。					
予算監視・効率化チームの所見						
一部改善	本事業については、執行の適正化の観点から事業実績を踏まえ、予算を縮減すべき。					
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)						
縮減	事業実績を踏まえた見直しによる縮減。					
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年行政事業レビュー	859	平成23年行政事業レビュー	0766			

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてプロックごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分か るように記載)	A.財団法人こども未来財団			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	事業所内保育施設の従事者に対する研修等に要する経費	42			
	事務諸費	事業所内保育施設の従事者に対する研修等に要する経費	25			
	計		67	計		0
	B.			F.		
費目・使途 (「資金の流れ」 においてプロックごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分か るように記載)	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
費目・使途 (「資金の流れ」 においてプロックごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分か るように記載)	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
費目・使途 (「資金の流れ」 においてプロックごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分か るように記載)	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	I.			J.		
費目・使途 (「資金の流れ」 においてプロックごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分か るように記載)	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人こども未来財団	事業所内保育施設の従事者に対する研修等に要する経費	67		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					